

日本生体医工学会ユビキタス情報メディアと医療システム研究会
2021年度第1回定例研究会
テーマ「患者の安全管理と医療職者の業務改善を目指した医療システム」

新型コロナウイルス感染症によって医療機関の業務環境が大きく変わる中、感染拡大防止をはじめとする患者の安全管理と、多忙さを極める中での医療職者の業務改善の両立は、今まで以上に重要になっています。その中で、情報メディアには「接触機会を減らす」という安全管理上の観点からの大きな期待が寄せられることになりました。今までの医療、とりわけベッドサイドケアは、人が視聴覚を用いて何かを認識し、そこで得た人がデータ・情報として言語化することを業務の前提としています。そこに「接触機会を減らす」という優先事項を割り込ませると、情報システムを超え「ベッドサイドケアの仕組み」という時限で医療システムが変わり得ると考えます。諸外国で運用されている事例も踏まえて、この医療システム変革の可能性を生体医工学的に検討することが今回のねらいです。本研究会ではベッドサイドケアに関わっている方や、工学・保健医療学分野の研究者・技術者など、幅広い層の方にご参加いただき、従来までの業務慣行にとらわれず幅広い視点で新しい医療システムを議論できればと考えております。

日本生体医工学会「ユビキタス情報メディアと医療システム研究会」
会長 瀬戸 僚馬（東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科教授）

< 開催概要 >

- 主催： 日本生体医工学会 ユビキタス情報メディアと医療システム研究会
共催： 日本医療情報学会看護部会 病棟デバイス・ワーキンググループ
日時： 2021年11月18日(木) 16:00~18:00
場所： 下田工業株式会社名古屋支社（愛知県名古屋市中区栄4丁目6番19号）
対象： ベッドサイドケアに関わっている方（医師・看護師・メディカルスタッフ・介護福祉士等）
工学・保健医療学分野の研究者・技術者や関心のある方 ※会員資格は問いません。
参加費： 無 料
申込： 2021年11月16日(火)までにフォーム（<https://forms.gle/yBZNNMiAomMHvTtF6>）からお申し込みください。 ※申し込みなしで現地会場に来ても入館できませんのでご注意ください。

プログラム：

- 開会挨拶 研究会長 瀬戸僚馬（東京医療保健大学）
1. キーノートスピーチ（20分×3）
病棟デバイスと看護師の業務負荷軽減（東京医療保健大学・瀬戸僚馬）
ワイヤレスシステムによる個体認証の合理化（湘南工科大学・保坂良資）
今後の病院システムの展望（防衛医科大学校・脇坂仁）
 2. 関係各社による現状の説明と将来の展望
事例1（下田工業株式会社・草野顕二）
事例2（帝人株式会社・平野義明）
事例3（モバコムヘルスケア株式会社・平井賢吾）
事例4（ゲティンググループ・ジャパン株式会社・岡垣千尋）
 3. 参加者相互の討論（15分-20分）

その他： 医療情報技師の更新ポイント(1ポイント)を希望される方、その他出張証明等で必要な方には参加証明書をお渡しします。